

A. ヴィヴァルディ
「グローリア ニ長調」 RV589

C. グノー
「聖セシリアのためのミサ・ソレムニス」

2010年10月30日[土]

開場13:30 開演14:00

紀尾井ホール

東京合唱団演奏会

ご挨拶

本日は皆様お忙しい中、私ども東京合唱団の演奏会にご来場いただきましてまことに有難うございます。

本日の演奏会では、イタリア・バロックの巨匠で合奏協奏曲「四季」などの器楽曲で知られているアントニオ・ヴィヴァルディの「グローリア」ならびに、「アヴェマリア」などで日本でもお馴染みな19世紀フランス・ロマン派の作曲家シャルル・グノーの「聖セシリアのためのミサ・ソレムニス」を演奏いたします。

音楽監督前田幸康先生の指導の下、本日まで練習を積み重ねて参りました成果を皆様をお迎えしてご披露できるのは私共団員一同にとってこの上ない喜びであります。どうかごゆっくり午後のひとときをお楽しみください。

なお来年2011年は同じく紀尾井ホールで、10月9日にバッハの名曲「ミサ曲口短調」を演奏する予定でございます。来年も引き続きご来聴いただけるようお願い申し上げますとともに、当団の活動にご関心をもたれている方々、「ミサ曲口短調」をご一緒に歌っていただける方々をご紹介いただければ幸いです。

最後になりましたが、本日の演奏会開催にあたり「前田幸康サポータークラブ」ならびに「学習院 OB 混声合唱団」より多大なご支援、ご協力をいただきました。本紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

東京合唱団団長 岸 柁文

A. ヴィヴァルディ

「グローリア ニ長調」 RV589

C. グノー

「聖セシリアのためのミサ・ソレムニス」

第一部

A. ヴィヴァルディ

「グローリア ニ長調」 RV589

休憩

第二部

C. グノー

「聖セシリアのためのミサ・ソレムニス」

独 唱 ○ソプラノ 坂井田真実子

○メゾソプラノ 梁 取 里

○テノール 中 鉢 聡

○バス 近野 賢一

オルガン ○草間 美也子

指 揮 ○前田 幸康

合 唱 ○東京合唱団

学習院 OB 混声合唱団

管 弦 楽 ○東京 KMG 管弦楽団



Yukiyasu MAEDA Director & Conductor

前田 幸康
(指揮)

国立音楽大学卒業。チェロを故小沢弘、故黒沼俊夫、小野崎純の各氏に師事。N響、日フィル等のオーケストラでフリーのチェリストとして活躍し、東京ゾリステン等の室内楽にも力を注ぐ。現神奈川フィルハーモニー交響楽団の前身であるロリエ管弦楽団を故金子登、故前田幸市郎と設立し、初代チェロ第一首席奏者を務める。

1973年に渡欧し、Prof.マルティン・オースタータークに師事。1974年1月よりフライブルク市立交響楽団のメンバーとなる。故前田幸市郎から指揮の指導を受け、1990年以来、日本において活動をしている。W.A.モーツァルト「レクイエム」、J.G.L.モーツァルト「ミサソレムニス」(日本初演)、グラウンのオラトリオ「イエスの死」(日本初演)、ブラームス「ドイツレクイエム」、J.S.バッハ「ミサ曲短調」「ヨハネ受難曲」、フォーレ「レクイエム」、ヘンデル「メサイア」、メンデルスゾーン「パウロ」等を東京合唱団の音楽監督として指揮する。1985年よりプロアルテ・カンマー・オーケストラ・フライブルクの首席チェロを務めた。同年にまたフライブルク市よりカンマームジーカーの称号を贈られ、1989年には外国人としては最高の功労賞メダルを同市より授与された。上野学園大学教授。



Mamiko SAKAIDA Soprano

坂井田真実子
(ソプラノ)

自由学園高等科卒業、国立音楽大学声楽科卒業、同大学院オペラ専修修了。二期会オペラ研修所マスタークラス修了、修了時に優秀賞、奨励賞受賞。東京立川こぶしロータリークラブより奨学生として伊に留学。Accademia Filarmonica di Bolognaにて研鑽を積む。「フィガロの結婚」(ケルビーノ)にてオペラデビュー。東京・春・音楽祭 W.シルマー指揮、ワーグナー「バルジファル」魔法の乙女。伊・ボルデノーネ「国際宗教音楽祭」 R.シャンバダール指揮、メンデルスゾーン「讃歌」ソプラノソロ。「大野和士のこころふれあいコンサート」他オペラ、宗教曲やコンサートのソリストとして多数出演、いずれの公演で好評を博す。ソレイユ音楽コンクール2位及び優秀賞受賞。伊・ゴリーツィア・セギツィ国際ソリストコンクール聴衆賞(2位)受賞。今年11月 二期会公演 オペレッタ「メリー・ウイドウ」 ヴァランシエヌ役として出演予定。二期会会員。07年西東京モーツァルト合唱団有志によって応援団が結成された。応援団サイト→ http://blogs.yahoo.co.jp/mozart_blog 坂井田真実子ブログ→ http://blogs.yahoo.co.jp/sakaida_mamiko



Sato YANATORI Mezzo-soprano

梁 取 里
(メゾソプラノ)

福島県出身。県立安積女子高等学校(現、安積黎明高等学校)卒業。都留文科大学文学部初等教育学科卒業。東京芸術大学音楽学部声楽科を経て、現在、同大学大学院音楽研究科修士課程3年に在籍。昨年は、台東区、三越、中央区、荒川区のベーターヴェン《第九交響曲》演奏会において、また、芸大プロジェクト・ハイドンシリーズにおいて、ゲルハルト・ボッセ指揮《ハーモニー・ミサ 変ロ長調》のアルトソロを務める。今年7月には、芸大奏楽堂モーニングコンサートに出演、高関健指揮、R. ワーグナー《ヴェーゼンドンクによる5つの詩》を演奏。これまでに、声楽を割谷由美子、清水雅彦、多田羅迪夫、寺谷千枝子の各氏に師事。



Satoshi TYUBACHI Tenor

中 鉢 聡
(テノール)

東京芸術大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第11期生修了。築地利三郎、鈴木寛一、南條年章の諸氏に師事。藤原歌劇団で「ラトラヴィアータ」「東洋のイタリア女」などに出演後イタリアに遊学。帰国後、文化庁青少年芸術劇場公演「愛の妙薬」のネモリーノ、「イル・カンピエッロ」等の出演を経て、2003年「ロメオとジュリエット」でロメオ役に抜擢され大成功を収めた。その後、「ラトラヴィアータ」のアルフレード、「アドリアーナ・ルクヴール」のマウリツィオ、「トスカ」のカヴァラドッシと大役出演が続きプリモ・テノールとして活躍し、09年は「愛の妙薬」のネモリーノで好評を博した。新国立劇場では開場記念公演「建・TAKERU」以来、数多くの公演に出演を重ね、02年観賞教室「トスカ」のカヴァラドッシで成功を収め、「アラベッラ」のマッテオでも好評を博した。その他、びわ湖ホール・プロデュースオペラ「スティッフエリオ」のタイトルロール、「第九」等のソロ、NHKニューイヤー・オペラコンサート、国際サッカー試合での国歌独唱、全国各地でのリサイタルや各種コンサート等活発な活動を展開している。また「題名のない音楽会」「あなたが選ぶ映画音楽」などの音楽番組のほか「誰でもピカソ」に出演するなど、クラシック音楽会にとどまらず多方面で活躍中。09年LOHASクラシックから初CD「プリモ・バーチャ」をリリース。藤原歌劇団団員。



Kenichi KONNO Baritone

近野 賢一
(バリトン)

新潟大学卒業、京都市立芸術大学大学院修了。これまでに、箕輪久夫、宇野徹哉、福島明也の各氏に師事、リート解釈を岡原慎也氏に師事。友愛リートコンクール第三位、併せて日本歌曲賞受賞。大曲新人音楽祭コンクール奨励賞受賞。青山財団から奨学金を授与され現在フライブルク音大にてM.ゴリツキ教授に師事。新潟・京都・北海道・フライブルクにて「冬の旅」「シューマン歌曲の夕べ」などのリサイタルを行っている。



Miyako KUSAMA Organ

草間 美也子
(オルガン)

フェリス女学院短期大学音楽科卒業。同専攻科修了。オルガンを奥田耕天、ピアノを大島正泰、小林道夫、岸川基彦の各氏に師事。1970年万博記念オルガンコンクールで最高位入賞。その後ドイツのケルンに留学、ミヒャエル・シュナイダー氏に師事。帰国後、NHK交響楽団、新日フィル、読売日響などのオーケストラと共演多数。サヴァリッシュ、マズア、プロムシュテット、アルブレヒトなどの指揮者のもと、宗教曲を主に多くの演奏会に出演。海外でのコンサートも多く、ケルン、ベルリン、チュービンゲン、ライブツィヒなどで独奏・伴奏を行なう。現在、恵泉女学園オルガンニスト、銀座教会音楽主任。

東京 KMG 管弦楽団

東京合唱団の創設者、故前田幸市郎氏により1982年にKMG合奏団として組織された。東京近郊の第一線クラスのソリストにより結成され、名人芸的なアンサンブルを醸し出す。特にバロック音楽では高い水準を維持している。

ヴィヴァルディ「グローリア ニ長調 RV589」について

アントニオ・ヴィヴァルディ（Antonio Vivaldi）は、1678年にヴェネツィアで生まれ、1741年ウィーンで没しました。バロック末期を代表する作曲家で、優れたヴァイオリン奏者でした。25歳の時にヴェネツィアでカトリックの司祭に叙階され、生涯司祭の地位にありましたが、ミサを自ら執り行うことは殆どなく、専ら作曲家・演奏家・教育者として活躍しました。作曲家としては、ヴァイオリン協奏曲「四季」（「和声と創意の試み」の第1番から第4番）があまりに有名ですが、500を超える各種協奏曲、52のオペラ、73のソナタ、多数の宗教音楽を作曲しています。

本日演奏する「グローリア ニ長調 RV589」は、ヴィヴァルディが宗教音楽において地位を確立した名曲として知られています。同じニ長調のグローリア RV588が推定1715年に作曲され、このコンセプトを拡張する形でRV589が作曲されたようです。ただ、作曲された年やその動機については諸説があり、よく分かっていません。グローリア RV589は、12曲で構成されており、ソプラノ、メゾソプラノ（アルト）2人のソリスト、混声合唱、オーケストラで演奏されます。

第1曲はニ長調の合唱のユニゾンで始まり、軽快なテンポで天上の神の栄光を讃え、「グローリア！」が繰り返されます。第2曲は口短調で、一転してゆったりしたテンポになり、第1曲の天上から地上への転換が印象的です。“地上の善意の人々に平和があれ！”と合唱が祈りを込めて歌い、8分音符で美しく動く弦楽合奏が合唱を支えるかたちになっています。合唱のハーモニーの美しさ、弦楽との協調の見事さは比類ありません。第3曲“主を讃えて”は、ソプラノ2声によるオペラ的な2重唱です。第4曲と第5曲は神への感謝と栄光を讃えて、合唱が歌います。第6曲“主なる神”はソプラノ独唱で、オーボエ独奏との掛け合いが聴き所です。第7曲“主の一人子イエス”は、合唱により3拍子で軽快に歌われます。第8曲“主なる神、神の子羊”は前曲とは対照的な静かな曲となり、アルト（メゾソプラノ）の独唱と合唱が受け渡しを行います。第9曲はコラール風で“われらの罪を除きたまえ！”と合唱が歌います。第10曲“父の右に座したまう人”はアルト（メゾソプラノ）の独唱です。第11曲は第1曲と同じオーケストラの前奏で始まり、合唱がアレグロでイエスを讃える短い曲です。第12曲“クム・サンクト・スピリト（気高い精霊とともに）”は終曲にふさわしく、神の栄光を讃える壮大なフーガになっています。

J. S. バッハ（1685-1750）は「ミサ曲口短調」を作曲するにあたり、このヴィヴァルディのグローリアを参考にしたという説があります。非常に興味深いことに、グローリアで重要な位置を占める第2曲（グローリアの‘センターピース’という人もいるほどです）は、同じ口短調です。東京合唱団は来年度の演奏会で、バッハの「ミサ曲口短調」を取り上げることになっています。

（テノール 上野紘機）

Gloria 栄光の賛歌

Gloria in excelsis Deo.	天のいと高きところには、神に栄光、
Et in terra pax hominibus bonae voluntatis.	地には善意の人に平和あれ。
Laudamus te. Benedicimus te.	われら主をほめ、主をたたえ、
Adoramus te. Glorificamus te.	主をおがみ、主をあがめ、
Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam.	主の大いなる栄光のゆえに感謝したてまつる。
Domine deus, rex caelestis, deus pater omnipotens.	神なる主、天の王、全能の父なる神よ。
Domine fili unigenite, Jesu Christe.	主なる御ひとり子、イエズス・キリストよ。
Domine deus, agnus dei, filius patris.	神なる主、神の子羊、父のみ子よ。
Qui tollis peccata mundi, miserere nobis.	世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。
Qui tollis peccata mundi,	世の罪を除きたもう主よ、
suscipe deprecationem nostram.	われらの願いをききいれたまえ。
Qui sedes ad dexteram patris, miserere nobis.	父の右に座したもう主よ、われらをあわれみたまえ。
Quoniam tu solus sanctus, Tu solus dominus.	主のみ聖なり、主のみ王なり、
Tu solus altissimus, Jesu Christe.	主のみいと高し、イエズス・キリストよ。
Cum Sancto spiritu, in gloria dei patris,	聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに。
Amen	アーメン。

グノー (CHARLES GOUNOD)

シャルル・グノー (1818 ~ 1893) は日本ではアヴェ・マリアなどでよく知られていますが、19世紀フランス・ロマン派を代表するオペラ作曲家及び教会音楽作曲家として有名です。歌劇「ファウスト」、「ロメオとジュリエット」は特に有名ですが、その生涯に於いて11のオペラ、交響曲、150以上の数多くの歌曲の他、ミサ曲、レクイエムなど100曲を超える宗教音楽（その中には、男声合唱とオルガンのためのミサ曲などが含まれる）を作り、教会のオルガニストや合唱指揮者などとしても大いに活躍しました。

メンデルスゾーン、サン・サーンス、フォーレなどとも親交があり、又一時イギリスに渡って教会音楽、合唱音楽の指導者などで顕著な活動を行っています。

「聖セシリアのためのミサ曲」(Messe Solennelle De Saint Cecile)

この曲は1855年11月、聖セシリアのミサに際して作られ、パリの教会で初演され大成功を収めました。

「聖セシリア」というのは、音楽の守護神で、3世紀末にローマで殉教した聖女の中で最も有名な女性といわれています。

如何にも19世紀半ばのフランス・ロマン派全盛期に相応しく、それ以前の数多くのミサ曲と異なり、華やかな、快い旋律と透明な色彩感、そして品位ある叙情性に満ちており、全曲を通じてオペラ的な様式を持つ、とても美しく流麗なミサ曲になっています。

曲は、キリエ、グローリア、クレド、サンクトゥス、ベネデイクトゥス、アニュス・デイと、ミサの通常の典礼文に従って歌われますが、途中クレドの後にオーケストラのみによりオッフエルトリウムが演奏され、又、アニュス・デイには、(テノールとソプラノのソロで)通常の典礼文にはない文章が付け加えられているなどの特徴もあります。

そして、最後に短く「Domine Salvam」(主よ、救けたまえ)で、教会、軍隊、及び国家それぞれの主に対する祈りを歌って華やかに曲を閉じます。

これも、他のミサ曲には無い、珍しい、グノーならではの特徴をもった興味深い終曲といえるでしょう。

(テノール 岸 柁文)

I. Kyrie
Kyrie eleison.
Christe eleison.
Kyrie eleison.

あわれみの賛歌

主よ、あわれみたまえ。

キリストよ、あわれみたまえ

主よ、あわれみたまえ。

II. Gloria

栄光の賛歌

Gloria in excelsis Deo.

天のいと高きところには、神に栄光、

Et in terra pax hominibus bonae voluntatis.

地には善意の人に平和あれ。

Laudamus te. Benedicimus te.

われら主をほめ、主をたたえ、

Adoramus te. Glorificamus te.

主をおがみ、主をあがめ、

Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam.

主の大いなる栄光のゆえに感謝したてまつる。

Domine deus, rex caelestis, deus pater omnipotens.

神なる主、天の王、全能の父なる神よ。

Domine fili unigenite, Jesu Christe.

主なる御ひとり子、イエズス・キリストよ。

Domine deus, agnus dei, filius patris.

神なる主、神の子羊、父のみ子よ。

Qui tollis peccata mundi, miserere nobis.

世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。

Qui tollis peccata mundi,

世の罪を除きたもう主よ、

suscipe deprecationem nostram.

われらの願いをききいれたまえ。

Qui sedes ad dexteram patris, miserere nobis.

父の右に座したもう主よ、われらをあわれみたまえ。

Quoniam tu solus sanctus, Tu solus dominus.

主のみ聖なり、主のみ王なり、

Tu solus altissimus, Jesu Christe.

主のみいと高し、イエズス・キリストよ。

Cum Sancto spiritu, in gloria dei patris,

聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに。

Amen.

アーメン。

III. Credo

信仰宣言

Credo in unum deum,

われは信ず、唯一の神、

patrem omnipotentem.

全能の父を。

Factorem caeli et terrae, visibilium omnium et invisibilium,

天と地、見ゆるもの、見えざるものすべての造り主を。

Et in unum dominum.

われは信ず、唯一の神、

Jesum Christum filium dei unigenitum.

神の御ひとり子、イエズス・キリストを。

Et ex patre natum ante omnia saecula.

主はよろず世より先に、父より生れ、

Deum de deo, lumen de lumine,

神よりの神、光よりの光、

deum verum de deo vero.

まことの神よりのまことの神、

Genitum, non factum,

造られずして生まれ、

consubstantialem patri: per quem omnia facta sunt.

父と一体となり、すべては主により造られたり、

Qui propter nos homines, et propter nostram salutem

主は、われら人類のため、われらの救いのために、

descendit de caelis.

天より下り

Et incarnatus est de spiritu sancto ex Maria virgine:

聖霊によりて、処女マリアよりおんからだをうけ、

et homo factus est.

人となりたまえり。

Crucifixus etiam pro nobis

ポンシオ・ピラトの下にて、

sub Pontio Pilato:

われらのために十字架につけられ、

passus, et sepultus est.

苦しみをうけ、葬られたまえり。

Et resurrexit tertia die, secundum scripturas.

聖書にありしごとく、三日目によみがえり、

Et ascendit in caelum: sedet ad dexteram patris. Et iterum venturus est cum gloria judicare vivos et mortuos: cujus regni non erit finis.	天にのぼりて、父の右に座したもう。 主は、栄光のうちに再び来たり、 生ける人と死せる人とを裁きたもう、 主の国は終ることなし。
Et in spiritum sancutum dominum, et vivificantem: qui ex patre, filioque procedit.	われは信ず、主なる聖霊、生命の与えぬしを、 聖霊は、父と子よりいで、
Qui cum patre, et filio simul adoratur, et conglorificatur: qui locutus est per prophetas.	父と子とともに、拝みあがめられ、 また預言者によりて語りたまえり、
Et unam, sanctam, catholicam et apostolicam ecclesiam.	われは、一にして聖、普遍の 使徒継承の教会を信ず。
Confiteor unum baptisma in remissionem peccatorum. Et exspecto resurrectionem mortuorum. Et vitam venturi saeculi. Amen.	罪の赦しのためなる唯一の洗礼をみとめ、 死者のよみがえりと、 来世の生命とを待ち望む。 アーメン。
IV. Offertoire (Orchestra)	奉獻唱 (管弦楽)
V. Sanctus	感謝の賛歌
Sanctus, sanctus, sanctus, dominus deus sabaoth. pleni sunt caeli et terra gloria tua. Hosanna in excelsis.	聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の神なる主。 主の栄光は天地に満つ。 天のいと高きところにホザンナ。
VI. Benedictus	ほむべきかな
Benedictus qui venit in nomine domini. Hosanna in excelsis.	ほむべきかな、主の名によりて来る者。 天のいと高きところにホザンナ。
VII. Agnus Dei	平和の賛歌
Agnus dei, qui tollis peccata mundi miserere nobis.	神の子羊、世の罪を除きたもう主よ、 われらをあわれみたまえ。
Domine, non sum dignus ut intres sub tectum meum, sed tantum dic verbo, et sanabitur anima mea.	主よ、我は汝を我が屋根の下に迎えまつるに足らぬものなり。 ただ、御言葉のみをたまえ、さらば我が魂は癒えん。
Agnus dei, qui tollis peccata mundi dona nobis pacem.	神の子羊、世の罪を除きたもう主よ、 われらに平安を与えたまえ。
VIII. Domine Salvam	主よ救けたまえ
Domine salvam fac rem publicam nostram et exaudi nos in die, Qua invocaverimus te.	主よ、われらの国家を助け、救済したまえ。 そして、あなたを呼び求めたところのその日、 われらの祈りを聞き入れたまえ。

◆東京合唱団演奏会出演者

合唱：東京合唱団・学習院 OB 混声合唱団
指揮者：前田 幸康

ソプラノ	アルト	テノール	バス
岩藤 喬子 岩端由美子 牛津佐和子 荻野 直美 梶村 有美 亀山 澄美 小池 直子 坂井田廣子 仙波 京子 竹田 貴子 田中 公子 長 恭子 長尾 由香 濱野奈津美 堀口 祐子 前道 恵子	板倉由美子 稲垣 知子 小笠原みどり 梶原 典子 鴨澤 小織 佐々木紀代子 佐藤 京子 瀧来 佐穂 永澤麻衣子 花形 由美 藤田 香織 松田 和子 柳原 竜子 山田 久子	青田 正平 上野 紘機 上島 敏 神林 紘一 岸 榎文 塩谷 隆英 富松 太基 前道 伸彦 松本 洋一 宮本 昭彦 吉岡 端也	青木 修三 荒川 昌夫 今西 健一 小川 尚夫 葛西 英一 近藤 安雄 杉村 俊哉 津守 滋 沼田 盛也 広畑 俊成 山岡 成行 山口 和 山根 明

◆東京 KMG 管弦楽団

第1ヴァイオリン ◎室谷 高廣 荻野 照子 徳井 えま 松岡 由佳 天日 倫代 眞中 千春	第2ヴァイオリン 吉原 葉子 磯 祥男 佐藤 明美 眞中 望美 西本 徳子	ヴィオラ 河合 訓子 原口 朝子 磯 晃男 高野 香子 前田 利祐	チェロ 羽川 真介 羽川 恵子 松本 卓以 井崎 瑛恵	コントラバス 倉持 敦
フルート 白尾 隆 小川 真由子 小山 いずみ	オーボエ 小畑 善昭 金子 亜美	クラリネット 恩智 聡子 元木 瑞香	ファゴット 前田 信吉 大塚 利崇	ホルン 南 博之 伊勢 久視 岡村 陽 田邊 愛子
トランペット 神代 脩 中務 朋子 海野 匡代 相馬 伸恵	トロンボーン 丸山 博之 牧瀬 顕利 山口 隼士	ティンパニー 井手上 達	オルガン 草間美也子	ハープ 三宅 美子
打楽器 石川 達也 安江 佐和子				

◎はコンサートマスター

東京合唱団演奏歴

*印は本邦初演

演奏年月日	演奏曲目	独唱者	オーケストラ・指揮者	備考
1954.11.29	ヴェルディ レクイエム	柴田喜代子 川崎 静子 柴田 睦陸 秋元雅一朗	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団・鎌倉コールと合同
1955.7.9	ベートーベン 交響曲第9番	柴田喜代子 岡部多喜子 柴田 睦陸 伊藤 亘行	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団・鎌倉コールと合同
1955.12.17	ブラームス ドイツレクイエム	伊藤 京子 伊藤 亘行	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1956.3.11	ベートーベン 交響曲第9番	伊藤 京子 栗本 尊子 柴田 睦陸 秋元雅一朗	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1956.7.11	フォーレ レクイエム	伊藤 京子 伊藤 亘行	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1956.8.	ボロディン タツタン人の踊り		東京交響楽団 前田幸市郎	アサヒビール・コンサート 学習院合唱団と合同
1957.4.3	メンデルスゾーン オラトリオ「エリア」	三宅 春恵 松内 和子 木下 保 秋元雅一朗	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1957.10.14	ベートーベン 交響曲第9番	柴田喜代子 川崎 静子 柴田 睦陸 伊藤 亘行	東京交響楽団 前田幸市郎	アサヒビール・コンサート 学習院合唱団と合同
1957.11.24	ヘンデル オラトリオ「メサイア」	大熊 文子 松内 和子 木下 保 大賀 典雄	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1957.12.1	クリスマスキャロル他		東京交響楽団 前田幸市郎	産経クリスマスブ・キャンドルコンサート
1958.5	ブラームス ネーニエ ブラームス 運命の歌		東京交響楽団 前田幸市郎	第54回都民シンフォニー・コンサート
1958.8.28	ベートーベン 交響曲第9番	毛利 純子 池田智恵子 石井 昭彦 大橋 国一	東京交響楽団 前田幸市郎	アサヒビール・コンサート 学習院合唱団と合同
1958.12.28	*ブルックナー ミサ曲第3番「大ミサ」	奥田智恵子 佐々木成子 木下 保 秋元雅一朗	東京交響楽団 前田幸市郎	
1959.3.29	グノー ミサ・ソレムニス(抜粋)	稲畑 絢子 灰谷栄一郎 坂本慶之祐	オルガン:島田麗子 前田幸市郎	
1959.12.6	ベートーベン ミサ・ソレムニス	柴田喜代子 佐々木成子 木下 保 秋元雅一朗	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1959.12.25	ベートーベン 交響曲第9番	三宅 春江 栗本 尊子 柴田 睦陸 石津 憲一	東京交響楽団 N.マルコ	TBS TV 出演
1960.5.19	ブラームス アルト・ラプソディ	別所 恵子	東京交響楽団 前田幸市郎	第70回都民シンフォニー・コンサート
1960.9.28	*ブルックナー ミサ曲第2番		東京交響楽団 前田幸市郎	宗教音楽研究会合唱団とジョイント
1960.12.10	ヴェルディ レクイエム	毛利 純子 川崎 静子 柴田 睦陸 秋元雅一朗	東京交響楽団 A.ヤンソンス	東京交響楽団特別演奏会
1961.12.21	ブラームス ドイツレクイエム	伊藤 京子 中山 第一	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1962.6	フォーレ レクイエム	長 恭子 中村 俊一	オルガン:松本和子 前田幸市郎	
1962.12.4 1962.12.5	ベートーベン 交響曲第9番	伊藤 京子 戸田 敏子 森 敏孝 中山 第一	東京交響楽団 A.パウルミュラー	東京交響楽団定期及び特別演奏会
1962.12.23	*ブルックナー ミサ曲第1番	瀬山 詠子 中村 浩子 楠瀬 一途 芳野 靖夫	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1963.12.22	ベートーベン ミサ・ソレムニス	土屋 可愛 野崎 幸子 中村 博之 秋元雅一朗	東京交響楽団 前田幸市郎	東京合唱団創立10周年記念 学習院合唱団と合同
1964.12.20	シューベルト ミサ曲第5番	真島 美弥 北村 幸子 下野 昇 池田 明良	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1965.5.31	中田喜直童謡集(混声)指揮:楠瀬一途 清水脩 毛銭の三つの詩(男声) クレッチェル イタリアのスケッチ(女声) 宗教歌曲集(男声) ロッシーニ 信仰・愛・希望(女声) ブラームス 哀悼歌、運命の女神の歌(混声)		ピアノ:石川治子 長 恭子 前田幸市郎	第1回東京合唱団コンサート
1965.12.19	*ドヴォルザーク レクイエム	嵐野 もと 安居史恵子 田原祥一郎 持田 篤	東京交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1966.5.16	信時潔作品集(混声) シューベルト ドイツミサ曲(男声) ブランク 聖母マリアへの連祷他(女声) スコットランド民謡集(混声)		オルガン:島田麗子 ピアノ:石川 治子 前田幸市郎	第2回東京合唱団コンサート
1966.6.9	モーツァルト レクイエム	伊藤 京子 中村 浩子 村地 健 芳野 靖夫	東京交響楽団 A.ヤンソンス	東京交響楽団定演
1966.12.4	フォーレ レクイエム *シャルパンティエ	嵐野 もと 西山早智恵 真夜中のミサ曲 河瀬 柳史	東京交響楽団 矢野 恵子 芳野 靖夫 前田幸市郎	学習院合唱団と合同 オルガン:島田麗子
1967.4.3	ベートーベン 交響曲第9番	伊藤 京子 長野羊奈子 藤沼 昭彦 高橋 修一	東京交響楽団 秋山 和慶	東京交響楽団定演(再建3周年記念)
1967.6.28	バッハ カンタータ第6,第131,第182番 モテット第3番	市丸 蒼生 板橋 勝 持田 篤	リディア室内合奏団 前田幸市郎 オルガン:島田麗子	第3回東京合唱団コンサート

東京合唱団演奏歴

*印は本邦初演

演奏年月日	演奏曲目	独唱者	オーケストラ・指揮者	備考
1967.8.	バッハ カンタータ第182番 モテット第3番		オルガン:植田義子 前田幸市郎 ピアノ:長基子	岡谷せせらぎ合唱団・オリンパス光学合唱団とジョイント
1967.11.28	*M.デュルフレ レクイエム	中村 浩子 芳野 靖夫	ABC交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱団と合同
1968.5.20	ブルックナー コラール・ミサ他 ブルックナー モテット 5曲 バッハ カンタータ第80番	安田 祥子 市丸 蒼生 板橋 勝 築地利三郎	オルガン:島田麗子 前田幸市郎	第4回東京合唱団コンサート
1968.12.3 1968.12.5	ヘンデル オラトリオ「メサイア」	井崎 洋子 斉藤恵美子 成田絵智子 栗林 義信 鈴木 寛一 梅原秀次郎	東京フィルハーモニー交響楽団 オルガン:島田麗子 前田幸市郎	藤原歌劇団創立35周年記念公演 学習院合唱団・藤原歌劇団合唱部と合同
1968.12.9.	ベートーベン 交響曲第9番	小池 容子 安居史恵子 砂川 稔 蔵田 裕行	東京交響楽団 ツデネク・コシュラー	東京交響楽団定演
1969.9.1	ブラームス ドイツレクイエム	中沢 桂 原田 茂生	日本フィルハーモニー交響楽団 前田幸市郎	日本フィルハーモニー交響楽団特別演奏会 東京合唱団創立15周年記念
1969.12.5	ヴェルディ レクイエム	山口 和子 成田絵智子 J.ザンビエリ 田島 好一	東京フィルハーモニー交響楽団 前田幸市郎	学習院合唱・藤原歌劇団合唱部と合同
1970.6.17	マーラー 交響曲第8番	大川 隆子 佐野 順子 中村 邦子 春日 成子 井原 直子 金谷 良三 吉江 忠男 佐藤征一郎	日本フィルハーモニー交響楽団 小沢 征爾	日本フィルハーモニー交響楽団第203回定演出演 プロ合唱団連合 他共演
1971.9.25	バッハ カンタータ第131,140,182番	中村 邦子 菊池 洋子 藤沼 昭彦 芳野 靖夫	ローリエ管弦楽団 前田幸市郎	
1971.12.15	ハイドン オラトリオ「四季」	中村 邦子 藤沼 昭彦 平野 忠彦	ローリエ管弦楽団 前田幸市郎	
1972.10.27	フォーレ レクイエム *グノー 聖セシリアの為のミサ・ソレムニス	中山早智恵 篠崎 義昭 芳野 靖夫	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 前田幸市郎	
1973.10.9	*リスト グランのパジリカ落成の為のミサ・ソレムニス	蘇我 栄子 石光佐千子 鈴木 寛一 芳野 靖夫	日本フィルハーモニー交響楽団 前田幸市郎	
1973.12.20	*ベーム カンタータ第1,第6,第7,第10番	沢田 祥子 末 芳枝 宮下 正 持田 篤	巖木真理弦楽四重奏団他 前田幸市郎 オルガン:島田麗子	東京合唱団教会コンサート
1974.10.18	バッハ マタイ受難曲	曾我 栄子 菊池 洋子 藤沼 昭彦 持田 篤 高橋 修一	東京ソリスト 前田幸市郎	東京合唱団創立20周年記念 グロリア少年合唱団と合同
1975.5.23	ブルックナー コラール・ミサ ブルックナー モテット8曲		巖木真理弦楽四重奏団他 前田幸市郎 オルガン:島田麗子	東京合唱団教会コンサート
1975.12.10	バッハ ミサ曲口短調	中沢 桂 石光佐千子 藤沼 昭彦 高橋 修一	東京ソリスト 前田幸市郎	
1976.6.4	バッハ モテット第2,第5,第6番 ブラームス モテット作品29,作品74		オルガン:植田義子 前田幸市郎	東京合唱団教会コンサート グロリア少年合唱団と合同
1976.11.22	バッハ ヨハネ受難曲	加藤 綾子 菊池 洋子 藤沼 昭彦 持田 篤 高橋 修一	東京ソリスト 前田幸市郎 オルガン:島田麗子 チェンバロ:及川	
1977.5.24	バッハ モテット第3番 ブルックナー ミサ曲第2番		金石幸夫プラスアンサンプル 前田幸市郎	東京合唱団教会コンサート
1977.10.21	モーツァルト レクイエム	市川 倫子 菊池 洋子 鈴木 寛一 芳野 靖夫	日本フィルハーモニー交響楽団 前田幸市郎	
1977.12.21	ベートーベン 交響曲第9番	常森 寿子 春日 成子 水沢 三郎 岡村 喬生	日本フィルハーモニー交響楽団 エルヴィン・ルカーチ	日本フィルハーモニー交響楽団定演出演
1978.6.15	ブルックナー ミサ曲第3番「大ミサ」	中沢 桂 菊池 洋子 鈴木 寛一 芳野 靖夫	日本フィルハーモニー交響楽団 前田幸市郎	
1978.12.5	バッハ モテット第1番 G.ガブリエリ 「サクレ・シンフォニー」より		金石幸夫プラスアンサンプル 前田幸市郎	東京合唱団教会コンサート
1979.6.6	バッハ カンタータ第4,第147番 G.ガブリエリ 「サクレ・シンフォニー」より	松井 洋子 郡 愛子 牧川 修 高橋 啓三	リディア室内合唱団 前田幸市郎	
1979.12.12	フォーレ レクイエム コダーイ ミサ・プレヴィス	田中 順子 田口 孝子 豊田喜代美 宗 孝夫 佐伯久美子 有川 文雄	日本フィルハーモニー交響楽団 前田幸市郎	
1979.12	コダーイ ミサ・プレヴィス クリスマス・コラール集より		オルガン:植田義子 前田幸市郎	ICU クリスマスコンサート
1980.9.17	ブラームス ドイツ・レクイエム ブラームス アルト・ラプソディー	常森 寿子 菊池 洋子 芳野 靖夫	日本フィルハーモニー交響楽団 前田幸市郎	学習院OB合唱団、東京大学コール・アカデミーと共演
1980.11.24	ヘンデル オラトリオ「メサイア」	井崎 洋子 塩崎 朋子 吉田 博久 玉木 豊	東京ソリスト 前田幸市郎	
1981.9.17	ブルックナー ミサ曲第2番 プレスコバルディ二重コーラスの為のミサ曲 デュルフレ グレゴリオ聖歌の主題による4つのモテット		オルガン:島田麗子 滝沢理子 前田幸市郎	東京合唱団第40回演奏会
1982.4.25	バッハ ヨハネ受難曲	永尾 和子 山岡 敦子 吉田 功 持田 篤 石黒 達朗	東京ソリスト オルガン:島田麗子 前田幸市郎	
1982.11.26	ハイドン 十字架上のキリストの最後の七つの言葉 ハイドン ミサ曲第9番(「ネルソン・ミサ」)	中沢 桂 山岡 敦子 阿部 純 宇佐見桂一	KMG 合奏団 前田幸市郎	ハイドン生誕250周年記念

●東京合唱団演奏歴

*印は本邦初演

演奏年月日	演奏曲目	独唱者	オーケストラ・指揮者	備考
1983.4.29	T.L. ヴィクトリア モテット ブルックナー ミサ曲第2番		金石幸夫・ブラスアンサンブル 前田幸市郎	
1983.12.11	モーツァルト レクイエム	永尾 和子 山岡 敦子 阿部 純 佐浦 国雄	東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 前田幸市郎	ゴールデンコンサート
1984.7.8	モーツァルト ミサ曲ハ短調	常森 寿子 浅田 啓子 佐々木正利 真田 直規	日本フィルハーモニー交響楽団 前田幸市郎	合唱団「たかね」と合同
1984.10.26	ブルックナー モテット フォーレ レクイエム	加藤 綾子 宇佐見桂一	オルガン：佐藤みさ子 前田幸市郎	チャリティコンサート
1985.4.21	バッハ カンタータ第66, 第67, 第104, 第134番	菊池 洋子 佐々木正利 宇佐見桂一	KMG 管弦楽団 前田幸市郎	J.S. バッハ生誕300年記念
1985.11.22	バッハ モテット第227, 第230番 バッハ カンタータ第4, 第56番	小池 哲郎	オルガン：植田義子 前田幸市郎	
1986.11.14	バッハ ヨハネ受難曲	常森 寿子 磯野 啓子 佐々木正利 宮下 正 小池 哲郎 宇佐見桂一 オケ中オルガン：池田泉 チェンバロ：伊澤長俊	KMG 管弦楽団 前田幸市郎 通奏低音：前田幸康	東京合唱団第46回定期演奏会
1987.10.14	ブラームス 六つの歌曲とロマンス 三つの歌、愛の歌、二つのモテット		ピアノ：小沢さち 須江太郎 前田幸市郎	
1988.4.23	バッハ カンタータ第11番 復活祭オラトリオ バッハ 昇天祭オラトリオ	常森 寿子 菊池 洋子 小松 英典 西垣 俊朗	KMG 管弦楽団 前田幸市郎	
1997.8.30	バッハ ヨハネ受難曲	柳沢 亜紀 保多 由子 三山 洋賜 小原 浄二 久住庄一郎 水野 賢司	KMG 管弦楽団 前田幸康	
1998.8.30	バッハ カンタータ第131番 モーツァルト フルートとハーブの為の協奏曲 フォーレ レクイエム	高橋 節子 大島 博 加賀 清孝	KMG 管弦楽団 天田 達(フルート) 三宅美子(ハーブ) 前田幸康	
1999.9.4	藤原義久 北からの挽歌 - MAEDA のテーマと東北地方のわらべ唄による ハイドン チェロ協奏曲ニ長調 モーツァルト ミサ曲ハ短調	李 恩球 横山 恵子 浅見 順一 水野 賢司	KMG 管弦楽団 クリスツフル・ヘンケル(チェロ) 前田幸康	
2000.9.10	バッハ カンタータ第68番 モーツァルト ファゴット協奏曲変ロ短調 モーツァルト レクイエム	五十嵐郁子 寺谷千枝子 大島 博 太田 直樹	東京ニューシティ管弦楽団 草間美也子(オルガン) 前田信吉(ファゴット) 前田幸康	学習院OB混声合唱団共演
2001.9.2	グノー 第2ミサ曲(男声合唱) (オーケストラ版編曲：番場俊之) ブラームス ドイツレクイエム	平松 英子 加賀 清孝	東京ニューシティ管弦楽団 草間美也子(オルガン) 前田幸康	オーケストラ版世界初演 東京大学アカデミカール共演 学習院OB混声合唱団共演
2002.8.31	バッハ ミサ曲ロ短調	平松 英子 竹本 節子 大島 博 加賀 清孝	KMG 管弦楽団 草間美也子(オルガン) 前田幸康	学習院OB混声合唱団共演
2003.9.6	*番場俊之 星の歌(合同演奏) ケルビーニ レクイエム(男声合唱) フォーレ レクイエム	蘭田真木子 鹿又 透	KMG 管弦楽団 草間美也子(オルガン) 前田幸康	東京大学アカデミカールとジョイント・コンサート 学習院OB混声合唱団共演
2004.9.11	ヘンデル オラトリオ「メサイア」	佐竹 由美 寺谷千枝子 大島 博 加賀 清孝	KMG 管弦楽団 草間美也子(オルガン) 前田幸康	学習院OB混声合唱団共演
2005.9.3	バッハ ヨハネ受難曲	橋本 美香 栗林 朋子 大島 博 小原 浄二 浦野 智之	KMG 管弦楽団 草間美也子(オルガン) 前田幸康	学習院OB混声合唱団共演
2006.9.3	モーツァルト 戴冠式ミサ曲 モーツァルト レクイエム モーツァルト アヴェ・ヴェルム・コルプス	平松 英子 永井 和子 大島 博 佐野 正一	KMG 管弦楽団 草間美也子(オルガン) 前田幸康	学習院OB混声合唱団共演
2007.9.1	ブラームス ドイツ・レクイエム ブラームス アルト・ラブソディ 番場俊之 アヴェ・マリア	平松 英子 寺谷千枝子 太田 直樹	KMG 管弦楽団 前田幸康	学習院OB混声合唱団共演
2008.9.6	メンデルスゾーン オラトリオ「パウロ」	佐竹 由美 横山 和彦 近野 賢一	KMG 管弦楽団 草間美也子(オルガン) 前田幸康	学習院OB混声合唱団共演 児童合唱団ムーサ共演
2009.9.13	ケルビーニ レクイエム(男声合唱) フォーレ レクイエム シューベルト ミサ曲ト長調(合同演奏)	平松 英子 鈴木 准 太田 直樹	KMG 管弦楽団 草間美也子(オルガン) 前田幸康	前田幸市郎メモリアル 東京大学アカデミカールとジョイントコンサート 学習院OB混声合唱団共演

♪♪♪ 東京合唱団 参加者募集 ♪♪♪

J. S. バッハの世紀の傑作 「ミサ曲 ロ短調」を歌いませんか？

東京合唱団では 2011年10月の定期演奏会で、J. S. バッハの「ミサ曲 ロ短調 (Messe in h-moll)」を演奏します。この演奏会の団員を募集しています。バッハの世紀の最高傑作を歌う、またとないチャンスですので、チャレンジしてみませんか。

東京合唱団は、1954年に故前田幸市郎先生によって創立された歴史ある混声合唱団です。1997年からは幸市郎先生のご子息である前田幸康先生に引き継がれ、今日に至っています。毎年1回オーケストラと共に、美しくバランスのとれたハーモニーで歌うことを目標に活動しております。バッハの「ミサ曲 ロ短調」については、幸市郎先生の時に1回(1975年)および幸康先生の時に1回(2002年)演奏されていますので、今回は東京合唱団として3回目の上演になります。練習は音取りの基礎から順次行いますので、初めての方を含めどなたでも参加できます。ぜひ一緒に歌いましょう。合宿(強化練習)も予定しております。

演奏会： 2011年10月9日(日) 紀尾井ホール

指揮： 前田 幸康

ソリストとオーケストラは現時点では未定ですが、例年高い評価を得ているプロにお願いしています

ご連絡は 042-421-7242 坂井田まで。